

9月16日 (木) 午前

アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	<p>21F-03 熱帯の物理・化学・生物 東塚 知己 (東大理)・升本 順夫 (東大理)・齊藤 宏明 (東大大海研)・本多 牧生 (JAMSTEC)・長谷川 拓也 (北大地球環境)・名倉 元樹 (JAMSTEC)・時長 宏樹 (九大応力研)</p>		<p>21F-06 海洋における微量元素・同位体 近藤 能子 (長崎大院水産)・張 勁 (富山大理)・小畑 元 (東大大海研)・西岡 純 (北大低温研)・乙坂 重嘉 (東大大海研)・栗栖 美菜子 (JAMSTEC)</p>
9:30	<p>趣旨説明 ★座長 時長 宏樹 (九大応力研)</p>		<p>★座長 近藤 能子 (長崎大院水産)・乙坂 重嘉 (東大大海研)・栗栖 美菜子 (JAMSTEC)</p>
9:35	<p>21F-03-1 ENSO固有周期に対するEkman輸送の効果 ○岩切友希(東大AORI)・渡部雅浩(東大AORI)</p>	9:30	<p>21F-06-1 北太平洋亜寒帯中層におけるマンガンと鉄の長距離輸送 ○小畑元(東京大学)・黄国宏(金沢大学)・金泰辰(韓国釜慶大学)・西岡純(北海道大学)</p>
9:55	<p>21F-03-2 太平洋暖水プール東部で観測した数日スケール大気海洋相互作用 ○永野憲(海洋研究開発機構)・耿驥(海洋研究開発機構)・谷口京子(海洋研究開発機構)・勝俣昌己(海洋研究開発機構)・植木巖(海洋研究開発機構)</p>	9:45	<p>21F-06-2 北太平洋亜寒帯における亜鉛とケイ酸塩の挙動 ○黄国宏(東京大学大気海洋研究所)・小畑元(東京大学大気海洋研究所)・金泰辰(韓国釜慶大学)・西岡純(北海道大学低温科学研究所)・眞塩麻彩実(金沢大学理工研究域)・長谷川 浩(金沢大学理工研究域)</p>
10:10	<p>21F-03-3 太平洋数十年規模振動に伴う太平洋とインド洋の相互作用の変調 ○石川光太(東京大学大学院)・東塚知己(東京大学大学院)</p>	10:00	<p>21F-06-3 亜寒帯北太平洋KH-17-3航海における溶存態・置換活性粒子態微量元素の東西と南北断面分布 ○陳卓然(京都大学化学研究所)・鄭臨潔(京都大学化学研究所)・宗林由樹(京都大学化学研究所)</p>
10:25	<p>21F-03-4 インドネシア多島海を通じた太平洋-インド洋間の波動エネルギー伝播経路 -太平洋から入射する場合- ○寺田雄亮(東京大学)・升本順夫(東京大学)</p>	10:15	<p>21F-06-4 亜寒帯北太平洋における溶存態Ni, Cu, Zn安定同位体比分布の解明 ○永江あゆみ(京都大学大学院理学研究科)・高野祥太郎(京都大学化学研究所)・宗林由樹(京都大学化学研究所)</p>
10:40	<p>21F-03-5 マカッサル海峡の海面水温と海面高度の関連性 ○市川香(九州大学 応力研)・張 甘夢(九州大学 総理工)</p> <p>★座長 升本 順夫 (東大理)</p>	10:30	<p>21F-06-5 海水中Mo、W安定同位体比の分析法最適化と北太平洋鉛直分布 ○龍山智道(京都大学大学院)・松岡航平(京都大学大学院)・高野祥太郎(京都大学大学院)・宗林由樹(京都大学大学院)</p>
10:55	<p>21F-03-6 ジャワ島沖の沿岸湧昇の発生時期とその後のインド洋ダイポール現象の発達 ○堀井孝憲(海洋研究開発機構)・Eko Siswanto(海洋研究開発機構)・Iskhaq Iskandar(Sriwijaya University)・植木巖(海洋研究開発機構)</p>	10:45	<p>休憩</p> <p>★座長 張 勁 (富山大理)・小畑 元 (東大大海研)・西岡 純 (北大低温研)</p>
11:10	<p>21F-03-7 MJOが中緯度に励起する波動エネルギー循環の診断にむけて ○相木秀則(名古屋大学)・福富慶樹(名古屋大学)・尾形友道(海洋研究開発機構)・菅野湧貴(電力中央研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・中野英之(気象研究所)</p>	11:00	<p>21F-06-6 北太平洋亜寒帯域表層の鉄の化学形態と生物利用能 ○近藤能子(長崎大院水産・環境)・山中敏輝(長崎大院水産・環境)・砂原雄大(長崎大院水産・環境)・西岡純(北大低温研)・小畑元(東大大気海洋研)・武田重信(長崎大院水産・環境)</p>
11:25	<p>21F-03-8 熱帯大西洋海面水温偏差の赤道非対称性の準10年規模変動と大気循環場との関係 ○古川善信(東北大学大学院)・杉本周作(東北大学大学院)</p>	11:15	<p>21F-06-7 東シナ海大陸棚・大陸斜面上における溶存鉄濃度と化学形態 ○佐藤光秀(長崎大学)・涌田陽平(長崎大学)・武田重信(長崎大学)</p>
11:40	<p>21F-03-9 海洋表層付近の成層構造が気候に与える影響: 大気大循環モデル実験 ○片岡崇人(海洋研究開発機構)・建部洋晶(海洋研究開発機構)・渡辺路生(海洋研究開発機構)・Hugo Bellenger(CNRS, LMD)・Jean-Philippe Duvel(CNRS, LMD)・Lionel Guez(CNRS, LMD)・Xavier Perrot(CNRS, LMD)</p>	11:30	<p>21F-06-8 化学トレーサーによる東シナ海外部陸棚低酸素水の起源水解析と混合比の定量 ○Wenjie Deng (富山大学)・Jing Zhang(富山大学)・Siteng Zhu(富山大学)・Keiji Horikawa (富山大学)・Takahiro Endoh(九州大学)・Takeshi Matsuno(九州大学)</p>
		11:45	<p>21F-06-9 潮汐による鉛直混合が北太平洋の基礎生産と栄養塩循環に与える影響 ○三角和弘(電力中央研究所)・坪野考樹(電力中央研究所)・津旨大輔(電力中央研究所)</p>

9月16日 (木) 午後

アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	<p>21F-08 中緯度海洋の果たす役割                      升永 竜介 (東大大海研)・遠山 勝也 (気象研)・宮本 歩 (東大先端研)・杉本周作 (東北大)</p>		<p>21F-13 海洋化学・海洋生物一般                      プログラム編成委員会</p>
14:00	<p>★座長 升永竜介 (東大大海研)                      趣旨説明</p>	14:00	<p>★座長 近藤 能子 (長崎大院水産)                      21F-13-1 海中における亜硝酸塩の光化学的な消失反応                      ○武田重信(長崎大院水産・環境)</p>
14:05	<p>21F-08-1* 日本の地表面気温変動における中緯度大気海洋結合の役割                      ○今田由紀子(気象研究所)・長谷川聡(東京大学大気海洋研究所)・塩竈秀夫(国立環境研究所)・森正人(九州大学応用力学研究所)・建部洋晶(海洋研究開発機構)・渡部雅浩(東京大学大気海洋研究所)</p>	14:15	<p>21F-13-2 北太平洋亜熱帯域の純群集生産を駆動するナノモルレベルのリン供給と迅速な再生                      ○橋濱史典(東京海洋大学)・安田一郎(東京大学)・隈部あき(東京海洋大学)・佐藤光秀(長崎大学)・笹岡洋志(東京海洋大学)・飯田洋介(気象庁)・塩崎拓平(東京大学)・齊藤宏明(東京大学)・神田穂太(東京海洋大学)・古谷研(創価大学)・Philip W. Boyd(タスマニア大学)・石井雅男(気象研)</p>
14:25	<p>21F-08-2 日本海のスSTトレンドと亜寒帯前線の関係性                      ○松浦浩巳(九州大学大学院)・木田新一郎(九州大学応用力学研究所)・上原克人(九州大学応用力学研究所)</p>	14:30	<p>21F-13-3 植物プランクトンのCN比はどのように決まるか                      ○増田良帆(北海道大学)・山中康裕(北海道大学)・中野英之(気象研究所)</p>
14:40	<p>21F-08-3 OFES2-NPZDモデルにより再現された黒潮流域における植物プランクトン濃度の十年規模変動                      ○東塚知己(東京大学大学院)・笹井義一(JAMSTEC)・佐々木英治(JAMSTEC)・野中正見(JAMSTEC)</p>	14:45	<p>21F-13-4 衛星データ (GCOM-C) を用いた北海道周辺海域における植物プランクトンのモニタリング                      ○有馬大地(北海道立総合研究機構 中央水産試験場)</p>
14:55	<p>21F-08-4 海洋前線の蛇行に伴う鉛直循環と大気海洋相互作用                      ○三浦康幹(京都大学大学院理学研究科)・吉川裕(京都大学大学院理学研究科)</p>	15:00	<p>21F-13-5 駿河湾における植物プランクトン群集構造の季節変動                      ○相田奈々(東海大学大学院)・池上輝(東海大学大学院)・吉川尚(東海大学大学院)・宗林留美(静岡大学)・大林由美子(愛媛大学)・松浦弘行(東海大学大学院)・西川淳(東海大学大学院)</p>
15:10	<p>21F-08-5 北太平洋における貯熱量と海面熱フラックスの経年変化(I)                      ○川合義美(海洋研究開発機構)</p>		<p>★座長 有馬 大地 (道総研)</p>
15:25	<p>21F-08-6 中緯度海洋における海面塩分の季節変動のメカニズム - 東西コントラストに着目して -                      ○木戸晶一郎(海洋研究開発機構)・桂将太(スクリプス海洋研究所)・野中正見(海洋研究開発機構)・谷本陽一(北大院地球環境)</p>	15:15	<p>21F-13-6 駿河湾沖合部における微生物群集の時空間分布                      ○宗林留美(静岡大学理学部)・高野勇知(静岡大学理学部)・茂木篤(静岡大学理学部)・峰澤卓巳(静岡大学理学部)・西川淳(東海大学海洋学部)・松浦弘行(東海大学海洋学部)・吉川尚(東海大学海洋学部)・大林由美子(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)</p>
15:40	<p>休憩</p>	15:30	<p>21F-13-7 黒潮海域の沈降・懸濁粒子に付着する原核生物群集構造                      ○海老原諒子(東京大学大気海洋研究所)・福田秀樹(東京大学大気海洋研究所)・横川太一(海洋研究開発機構)・永田俊(東京大学大気海洋研究所)</p>
	<p>★座長 宮本 歩 (東大先端研)</p>	15:45	<p>21F-13-8 浮遊性カイアシ類Pseudocalanus newmaniから検出された2種のウイルスの生態学的挙動                      ○平井惇也(東京大学大気海洋研究所)・片倉靖次(紋別市)・長井敏(水産機構・資源研)</p>
15:50	<p>21F-08-7 南インド洋亜南極モード水のスパイネシス偏差                      ○名倉元樹(海洋研究開発機構)</p>	16:00	<p>21F-13-9 マイクロイメージングデバイスと画像認識によるマガキ幼生同定技術の開発                      ○寛茂種(水産研究・教育機構 水産資源研究所)・関内孝行(株式会社プロトソリューション)・伊藤博(宮城県庁)・上野宗一郎(株式会社IDDK)・竹内寛(株式会社IDDK)・鈴木宏輔(アンデックス株式会社)・十川麻衣(宮城県水産技術総合センター)</p>
16:05	<p>21F-08-8 La Niña現象時の冬季大気循環場 ～ 1年目と2年目の比較 ～                      ○西平楽(東北大院理)・杉本周作(東北大院理)</p>	16:15	<p>21F-13-10 耳石の酸素安定同位体比を用いた東シナ海マアジ稚魚の近底層移行時期の推定                      ○榎本めぐみ(東京大学大気海洋研究所)・伊藤進一(東京大学大気海洋研究所)・高橋素光(水産研究・教育機構水産資源研究所)・佐々千由紀(水産研究・教育機構水産資源研究所)・樋口富彦(東京大学大気海洋研究所)・白井厚太郎(東京大学大気海洋研究所)</p>
16:20	<p>21F-08-9 大気海洋結合モデルによる短期の予報可能性について                      ○中野英之(気象研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・新藤永樹(気象研究所)・吉村裕正(気象研究所)・川上雄真(気象研究所)・坂本圭(気象研究所)・山中吾郎(気象研究所)</p>		
16:35	<p>21F-08-10 台風通過時にみられる気象庁全球日別海面水温解析の速報版のバイアスとその補正                      ○伊藤耕介(琉球大学)</p>		
16:50	<p>21F-08-11 高緯度海洋アンサンブルデータ同化システムにおける適応型観測誤差膨張の有効性                      ○大石俊(理化学研究所)・三好建正(理化学研究所)・可知美佐子(宇宙航空研究開発機構)</p>		
17:05	<p>21F-08-12 海面水温に対する海上風の応答についての数値モデルの再現性                      ○升永竜介(東京大学)・Nklas Schneider(ハワイ大学)</p>		
17:20	<p>総合討論</p>		